

THE PATHWAY OF CHRIST
Journeys of the Lord Jesus

イエスの 旅路



伝道出版社



このたび、「イエスの旅路」が長谷則明兄によってできあがったことを心から喜んでいきます。

以前、石浜義則兄によって、「われらの主イエス・キリストのみあしあと」が作成され、多くの諸兄姉様方がご活用されていることと思います。私もそれを大切に保管し、活用させていただいている一人であります。これはイスラエル地方の地図に主イエス様の歩まれた順路とみことばが文語体で書かれており大変立派なもので、先輩のご労苦を偲ぶことができます。

このたび、冊子型と地図をつけて改善したところ、長谷則明兄が四福音書全体を網羅して新しく編集しなおしてくださいました。文語体から新改約聖書に修正して、四福音書全体を網羅したものにできあがったものです。

地図は家族の協力により作ってみました。地図の上に記入しにくい場所などがあり、苦心したところもありますのでご了承ください。また、出版社の方々からも種々のアドバイスをいただき感謝しております。

この本がイエス様の旅路と、聖書のみことばを理解するのに少しでも諸兄姉様方に役立てばと思っております。

栄光が主にありますように。

2009年1月

松長 宏

	ページ
福音書の序文	1
イエスの誕生と幼年期	2
公生涯の始まりと約1年間	4
過越の祭りとユダヤ・サマリア伝道	7
初回のガリラヤ伝道	9
ユダヤ人の祭り	12
ガリラヤ伝道・2回目	13
最後のガリラヤ伝道	28
最後のユダヤ・ペレヤ伝道	34
最後のエルサレム伝道・過越の祭り前6日間	56
過越の祭り	65
イエスの受難	72
イエスの復活と顕現、および昇天	79

別冊

イエスの旅路（概要編）	ページ
・概要	1～9
・行程位置図	10～20

イエスの旅路

順番	各福音書序文	おもな出来事	内 容	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
			福音書の序文				
	マタイの福音書序文 (ルカの福音書との重複部分)	イエスの系図	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスの系図(ヨセフ方)(※) ・イエスの系図(マリヤ方)(※) 	1:1-17		3:23-38	
	ルカの福音書序文	ルカの福音書執筆の動機 ヨハネ誕生の告知	<ul style="list-style-type: none"> ・ルカの福音書が書かれた動機。ルカはテオピロに対して、イエスのことが正確な事実であることを順序だてて書き上げる(※) ・主の使いがザカリヤに現れて、エリサベツに男の子(ヨハネ)が生まれること、そして、その子どもの務めについて告げた(※) ・妻エリサベツはみごもり、5か月の間引きこもって、こう言った。「主は、人中で私の恥を取り除こうと心にかけて、今、私をこのようにしてくださいました。」 			1:1-4 1:5-23 24-25	
		時代背景	<ul style="list-style-type: none"> ・バプテスマのヨハネが活動した時の時代背景(※) ・皇帝テベリオの治世の第15年、ポンテオ・ピラトがユダヤの総督、ヘロデがガリラヤの国主、その兄弟ピリポがイツリヤとテラコニテ地方の国主、ルサニヤがアビレネの国主であり、アンナスとカヤパが大祭司であったころ、神のことはが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った 			3:1-2 (1-2)	
	ヨハネの福音書序文	イエスの本来の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばとして、いのちとしてのイエス・キリスト(※) ・初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった ・この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた ・この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった ・光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった 				1:1-5 (1) (2-3) (4) (5)
		ヨハネの使命	<ul style="list-style-type: none"> ・神から遣わされたヨハネの使命(※) ・彼は光ではなかった。ただ光についてあかしするために来たのである 				1:6-8 (8)
		世に來られたイエス	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人を照らすまことの光を、ご自分の民は受け入れない(※) ・この方はご自分のくにに來られたのに、ご自分の民は受け入れなかった ・受け入れた人々の特権と神によって生まれること(※) ・この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子ともとされる特権をお与えになった ・人となつて、私たちの間に住まわれたイエス・キリスト(※) ・この方は恵みとまことに満ちておられた ・律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである ・父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである 				1:9-11 (11) 1:12-13 (12) 1:14-18 (14) (17) (18)
	(注：序文の意味するところは、イエスが來られるまでの時代背景や準備期間の総称)						

順番	場所	おもな出来事	内 容	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
イエスの誕生と幼年期							
1	ナザレ	イエス誕生の告知 (マリヤに)	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスの誕生を御使いガブリエルがマリヤに告げ、マリヤはそのことばを受け入れた(※) ・御使いガブリエルが、神から遣わされてガリラヤのナザレという町のひとりの処女のところに来た ・御使いが言った。「こわがることはない。マリヤ。あなたは神から恵みを受けたのです。」 ・「ご覧なさい。あなたはみごもって、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい。」 ・「神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。彼はとこしえにヤコブの家を治め、その国は終わることがありません。」 ・そこで、マリヤは御使いに言った。「どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知りませんのに。」 ・御使いは答えて言った。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。…神にとって不可能なことは1つもありません。」 ・マリヤは言った。「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりこの身になりますように。」 			1:26-38 (26) (30) (31) (32-33) (34) (35-37) (38)	
		イエス誕生の告知 (ヨセフに)	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスの誕生を主の使いがヨセフに告げ、ヨセフはその妻マリヤを迎え入れた(※) ・その母マリヤはヨセフの妻と決まっていたが、ふたりがまだいっしょにならないうちに、聖霊によって身重になったことがわかった ・主の使いが夢に(ヨセフに)現れて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れないうあなたにあなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。」 ・「マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」 ・ヨセフは眠りからさめ、主の使いに命じられたとおりにして、その妻を迎え入れた 	1:18-24 (18) (20) (21) (24)			
2	ユダの町	マリヤはエリサベツを訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・マリヤは、山地にあるユダの町に行き親類のエリサベツにあいさつした(※) ・(エリサベツは言った。) 「主によって語られたことは必ず実現すると信じきった人は、何と幸いなことでしょう。」 			1:39-45 (45)	
		マリヤの賛美	<ul style="list-style-type: none"> ・マリヤの賛美(※) ・「わがたましいは主をあがめ、わが霊は、わが救い主なる神を喜びたたえます。」 ・「主はそのあわれみをいつまでも忘れないうで、そのしもべイスラエルをお助けになりました。」 ・「私たちの先祖たち、アブラハムとその子孫に語られたとおりで 			1:46-55 (46-47) (54) (55)	

順番	場 所	おもな出来事	内 容	マタイ	マルコ	ル カ	ヨハネ
		ヨハネの誕生	す。 ・マリヤは3か月ほどエリサベツと暮らして、家に帰った ・エリサベツは男の子を産んだ。父ザカリヤは、「彼の名はヨハネ。」と書き板に書いた(※)			1:56 1:57-66	
		父ザカリヤの預言	・父ザカリヤが、聖霊に満たされて、預言して言ったことば(※) ・「幼子よ。あなたもまた、いと高き方の預言者と呼ばれよう。…神の民に、罪の赦しによる救いの知識を与えるためである。」 ・幼子(ヨハネ)は成長し、その霊は強くなり、…公に出現する日まで荒野にいた			1:67-79 (76-77) 80	
3	ナザレから ベツレヘムへ	住民登録の勅令	・全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグストから出た ・ヨセフは、住民登録のため妻マリヤを連れてベツレヘムに上って行った(※)			2:1 4-5	
4	ベツレヘム	イエスの誕生	・マリヤは月が満ちて、男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた ・主の使いが、羊飼いたちにイエスの誕生を知らせた(※) ・(御使いは彼らに言った。) 「きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそキリストです。」 ・羊飼いたちは、みどりごイエスを捜し当て、神をあがめ、賛美しながら帰って行った(※) ・8日が満ちて幼子に割礼を施す日となり、幼子はイエスという名で呼ばれることになった	1: 25		2:6-7 8-14 (11) 15-20 <u>21</u>	
5	エルサレム	両親、幼子イエスとエルサレムに上る シメオンとアンナの預言 東方の博士、イエスを捜す	・両親は幼子を主にささげるために、エルサレムへ連れて行った ・主の律法に「山ばと1つがい、または、家ばとのひな2羽。」と定められたところに従って犠牲をささげるためであった ・エルサレムで、シメオンとアンナが幼子について神に感謝し、両親や人々に、この幼子のことを語った(※) ・東方の博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおいでになりますか。私たちは、…拝みにまいりました。」 ・ヘロデ王は恐れ感じ、民の祭司長たち、学者たちを集めて、キリストが誕生した場所を聞いた(※) ・彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれているからです。」 ・「『ユダの地、ベツレヘム。…わたしの民イスラエルを治める支配者が、あなたから出るのだから。』」 ・ヘロデはひそかに博士たちを呼んで、…こう言って彼らをベツレヘムに送った。「行って幼子のことを詳しく調べ、わかったら知らせてもらいたい。」	2:1-2 3-4 5 6 7-8		2:22 24 2:25-38	
6	ベツレヘム	東方の博士、イエスを礼拝	・東方の博士たちはベツレヘムに行き、幼子を見てひれ伏して拝んだ(※)	2:9-11			

順番	場 所	おもな出来事	内 容	マタイ	マルコ	ル カ	ヨハネ
			<ul style="list-style-type: none"> ・宝の箱をあけて、黄金、乳香、没薬を贈り物としてさきげた ・(博士たちは)夢でヘロデのところへ戻るなどという戒めを受けたので、別の道から自分の国へ帰って行った ・主の使いが夢でヨセフに現れて言った。「立って、幼子とその母を連れ、エジプトへ逃げなさい。…ヘロデがこの幼子を探し出して殺そうとしています。」 	2:11 12 13			
7	エジプト	幼子イエス、エジプトへ	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに立ちのき、ヘロデが死ぬまでそこにいた ・ヘロデは、…非常におこって、人をやって、ベツレヘムとその近辺の2歳以下の男の子をひとり残さず殺させた ・そのとき、預言者エレミヤを通して言われた事が成就した ・ヘロデが死ぬと、見よ、主の使いが、夢でエジプトにいるヨセフに現れて、言った。「立って、幼子とその母を連れて、イスラエルの地に行きなさい。」 	2:14-15 16 17 19-20			
8	ナザレ	イエス、ナザレに定住	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨセフは、幼子とその母を連れてイスラエルに戻り、ナザレという町に行って住んだ(※) ・これは預言者たちを通して「この方はナザレ人と呼ばれる。」と言われた事が成就するためであった ・幼子(イエス)は成長し、強くなり、知恵に満ちて行った。神の恵みがその上にあった 	2:21-23 (23)		2:39 40	
9	エルサレム	イエス、12歳の時エルサレムに上る	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスの両親は、過越の祭りには毎年エルサレムに行った ・12歳の時、両親と都に上り、宮で教師の真中にすわって、話を聞いたり質問したりしておられた(※) ・聞いていた人々はみな、イエスの知恵と答えに驚いていた。 ・(イエスを捜していた)両親は彼を見て驚き、母は言った。「父上も私も、心配してあなたを捜し回っていたのです。」 ・イエスは両親に言われた。「わたしが必ず自分の父の家にいることを、ご存じなかったのですか。」 ・しかし両親には、イエスの話されたことばの意味がわからなかった 			2:41 42-46 47 48 49 50	
10	ナザレ	イエスの成長	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスは、…ナザレに帰って、両親に仕えられた ・イエスはますます知恵が進み、背たけも大きくなり、神と人にとに愛された 			2:51 52	
公生涯の始まりと約1年間							
11	ヨルダン川	福音のはじめ イザヤの預言の成就 ヨハネの宣教とバプテスマ	<ul style="list-style-type: none"> ・神の子イエス・キリストの福音のはじめ ・預言者イザヤの書に書いてある預言の成就(※) ・バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪が赦されるための悔い改めのバプテスマを説いた ・ユダヤ全国の人々とエルサレムの全住民が彼のところへ行き、自 	3:3 3:1-2 5-6	1:1 1:2-3 1:4 5	3:4-6 3:3	

順番	場 所	おもな出来事	内 容	マタイ	マルコ	ル カ	ヨハネ
(11)			分の罪を告白して、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けていた <ul style="list-style-type: none"> ・ヨハネは、らくだの毛で織った物を着て、腰に皮の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた ・パリサイ人やサドカイ人が大ぜいバプテスマを受けに来るのを見たとき、ヨハネは彼らに言った。「まむしのすえたち。…悔い改めにふさわしい実を結びなさい。」 ・「良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。」 ・ヨハネが、バプテスマを受けに出て来た群衆、取税人、兵士たちにそれぞれ言ったことば(※) 	3:4 7-8 10	<u>1:6</u>		
		ヨハネの証言 (民衆に対して)	・民衆に対して語ったヨハネの証言(※) <ul style="list-style-type: none"> ・民衆は救い主を待ち望んでおり、みな心の中で、ヨハネについて、もしかするとこの方がキリストではあるまいか、と考えていた ・彼は宣べ伝えて言った。「私よりもさらに力のある方が、あとからおいでになります。…その方は、あなたがたに聖霊のバプテスマをお授けになります。」 ・「また手に箕を持って脱穀場をことごとくきよめ、麦を倉に納め、殻を消えない火で焼き尽くされます。」 ・ヨハネは、そのほかにも多くのことを教えて、民衆に福音を知らせた 	3:11-12 (11) (12)	1:7-8 <u>(7-8)</u>	3:15-17 (15) (16)	
		ヨハネの証言 (祭司とレビ人に対して)	・ユダヤ人から遣わされた祭司とレビ人に対して語った、ヨハネの証言(※) <ul style="list-style-type: none"> ・ユダヤ人たちが…「あなたはどなたですか。」と尋ねさせた ・彼は告白して否まず、「私はキリストではありません。」と言明した ・彼(ヨハネ)は言った。「私は、預言者イザヤが言ったように、『主の道をまっすぐにせよ。』と荒野で叫んでいる者の声です。」 ・「その方は私のあとから来られる方で、私はその方のくつのひもを解く値うちもありません。」 ・この事があったのは、…ペタニヤであって、ヨハネはそこでバプテスマを授けていた 				1:19-27 (19) (20) (23) (27) 28
		イエスの受洗	・イエスは、ヨハネからバプテスマを受けるために、ガリラヤからヨルダンにお着きになり、ヨハネのところに来られた <ul style="list-style-type: none"> ・(バプテスマの)ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」 ・「この方がイスラエルに明らかにされるために、私は来て、水でバプテスマを授けているのです。」 ・ヨハネからバプテスマを受ける(※) ・イエスは、…神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった ・天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」 	<u>3:13</u> 14-17 <u>(16)</u> <u>(17)</u>	1:9 9-11 (10) (11)	3:21 22 22	1:29 31

順番	場 所	おもな出来事	内 容	マタイ	マルコ	ル カ	ヨハネ
			<ul style="list-style-type: none"> ・(ヨハネは言った。) 「御霊が鳩のように天から下って、この方の上にとどまられるのを私は見ました。」 ・「その方こそ、聖霊によってバプテスマを授ける方である。」 ・「この方が神の子であると証言しているのです。」 ・教えを始められたとき、イエスはおよそ30歳で、人々からヨセフの子と思われていた 			3:23	1:32 33 34
12	荒野	イエスの試み	<ul style="list-style-type: none"> ・イエス、荒野で40日間の断食と悪魔の試み(※) ・御霊はイエスを荒野に追いやられた。イエスは40日間荒野にいて、サタンの誘惑を受けられた ・試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、この石がパンになるように命じなさい。」 ・イエスは言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る1つ1つのごちよによる。』と書いてある。」 	4:1-4 (1-2) (3) (4)	1:12-13 (12-13)	4:1-4 (1-2) (3) (4)	
13	神殿の頂	イエスの試み	<ul style="list-style-type: none"> ・神への信頼の試み(※) ・すると、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の頂に立たせて、言った。「あなたが神の子なら、下に身を投げてみなさい。」 ・イエスは言われた。「『あなたの神である主を試みてはならない。』とも書いてある。」 	4:5-7 (5-6) (7)		4:9-12 (9) (12)	
14	非常に高い山	イエスの試み	<ul style="list-style-type: none"> ・悪魔を拝む試み(※) ・今度は悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行った ・(悪魔は言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょう。」) ・イエスは言われた。「引き下がれ、サタン。『あなたの神である主を拝み、主だけに仕えよ。』と書いてある。」 ・悪魔はイエスを離れて行き、見よ、御使いたちが近づいて来て仕えた 	4:8-10 (8) (9) (10) 11		4:5-8 (5) (6-7) (8) 13	
15	ベタニヤ	最初の弟子たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨハネのふたりの弟子は、イエスについて行った(ひとりアンデレ)(※) ・彼(アンデレ)は(兄弟)シモンをイエスのもとに連れて来た。イエスはシモンに言われた。「あなたはヨハネの子シモンです。あなたをケバ(訳すとペテロ)と呼ぶことにします。」 ・(イエスは)ピリポを見つけて「わたしに従って来なさい。」と言われた(彼はアンデレ、ペテロと同じベツサイダの人) 				1:35-40 42 43-44
		イエスとナタナエルの出会い	<ul style="list-style-type: none"> ・ピリポは、ナタナエルをイエスのもとに連れて来る(※) ・ナタナエルは彼(ピリポ)に言った。「ナザレから何の良いものが出るだろう。」ピリポは言った。「来て、そして、見なさい。」 ・イエスはナタナエルについて言われた。「これこそ、ほんとうのイスラエル人だ。彼のうちには偽りが無い。」 ・ナタナエルはイエスに言った。「どうして私をご存じのですか。」 ・イエスは言われた。「わたしは、ピリポがあなたを呼ぶ前に、あなたがいちじくの木の下にいるのを見たのです。」 				1:45-51 (46) (47) (48) (48)

順番	場 所	おもな出来事	内 容	マタイ	マルコ	ル カ	ヨハネ
			<ul style="list-style-type: none"> ・ナタナエルは答えた。「先生。あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」 ・そして(イエスは)言われた。「あなたがたに告げます。天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを…いまに見ます」 				(1:49) (51)
16	ガリラヤのカナ	カナの婚礼	<ul style="list-style-type: none"> ・ガリラヤのカナで婚礼があり、イエスも弟子たちも招かれた(※) ・婚礼の席で水をぶどう酒に変える(※) ・彼(宴会の世話役)は、花婿を呼んで、言った。「…あなたは良いぶどう酒をよくも今まで取っておきました。」 ・イエスはこのことを最初のしるしとしてガリラヤのカナで行い、ご自分の栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた 				2:1-2 3-11 (9-10) (11)
17	カペナウム	カペナウムに滞在	<ul style="list-style-type: none"> ・その後、イエスは母や兄弟たちや弟子たちといっしょに、カペナウムに下って行き、長い日数ではなかったが、そこに滞在された 				2:12
過越の祭りユダヤ・サマリヤ伝道							
18	エルサレム	過越の祭りと宮清め	<ul style="list-style-type: none"> ・過越の祭りが近づき、イエスはエルサレムに上られた。宮で商人の牛、羊を追い出し、両替人の金を散らし、その台を倒す(※) ・(イエスは)言われた。「わたしの父の家を商売の家としてはならない。」 ・ユダヤ人たちが言った。「あなたがこのようなことをするからには、どんなしるしを私たちに見せてくれるのですか。」 ・イエスは言われた。「この神殿をこわしてみなさい。わたしは、3日でそれを建てよう。」(ご自分のからだの神殿のこと) ・ユダヤ人たちは言った。「この神殿は建てるのに46年かかりました。あなたはそれを、3日で建てるのですか。」 ・多くの人々がイエスを信じた。しかし、イエスは、ご自身を彼らにお任せにならなかった (※) 				2:13-17 (16) 18 19 20 23-25
		ニコデモの夜の訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・イエスは、夜、訪ねて来たユダヤ人の指導者ニコデモと、「新しく生まれる」ことで問答(※) ・イエスは言われた。「人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」 ・ニコデモは言った。「人は、老年になっていて、…もう1度、母の胎にはいって生まれることができますか。」 ・イエスは答えられた。「人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国にはいることができません」 ・イエスは(理解できないニコデモに)言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。」 ・「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。」 ・「それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」 				3:1-15 (3) (4) (5) (10) (14) (15)
		神の愛とさばき	<ul style="list-style-type: none"> ・神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛され 				3:16

順番	場 所	おもな出来事	内 容	マタイ	マルコ	ル カ	ヨハネ
			た。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである ・信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったので、すでにさばかれている ・真理を行う者は、光のほうに来る。その行いが神にあってなされたことが明らかにされるためである				3:18 21
19	ユダヤ	イエスのバプテスマ	・イエスは弟子たちと、ユダヤの地に行き、彼らとともにそこに滞在して、バプテスマを授けておられた				3:22
		ヨハネのバプテスマ	・一方ヨハネもサリムに近いアイノンでバプテスマを授けていた				3:23
		マ	・ヨハネは、まだ投獄されていなかったからである				24
		イエスについて証言	・ヨハネは弟子たちにイエスについて証言(※) ・彼ら(弟子たち)は言った。「先生。見てください。…あなたが証言なさったあの方が、バプテスマを授けておられます。そして、みなあの方のほうへ行きます。」 ・(ヨハネは言った。) 「花嫁を迎える者は花婿です。そこにおいて、花婿のことばに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。」 ・「あの方は盛んになり私は衰えなければなりません。」				3:25-30 (26) (29) (30)
	上から来る方	・上から来る方は、すべてのものの上におられ、地から出る者は地に属し、地のことばを話す ・神がお遣わしになった方は、神のことばを話される。神が御霊を無限に与えられるからである ・御子を信じる者は永遠のいのちを持つが、御子に聞き従わない者は、いのちを見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる				3:31 34 36	
20	スカル (サマリヤ)	サマリヤの女に宣教	・イエスはユダヤを去って、ガリラヤへ行かれる途中、スカルというサマリヤの町に来られた(※) ・ヤコブの井戸での出来事(サマリヤの女とのやりとり)(※) ・イエスは言われた。「この水を飲む者はだれでも、また渇きます。しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことがありません。」 ・「あなたには夫が5人あったが、今あなたといっしょにいるのは、あなたの夫ではないからです。」 ・女は言った。「先生。あなたは預言者だと思います。…あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムだと言われます。」 ・イエスは言われた。「わたしの言うことを信じなさい。…真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。」 ・女はイエスに言った。「私は、キリストと呼ばれるメシヤの来られることを知っています。」 ・イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」 ・サマリヤの女はイエスのことを町の人に伝えた(※) ・彼ら(町の人)は町を出て、イエスのほうへやって来た				4:1-5 6-26 (13-14) (18) (19-20) (21-23) (25) (26) 28-29 30